（１時間：４５分）

授　業　科　目	必須／選択の別	学年	標準時間数
Linux	必須	2	30
Webアプリケーション構築１	〃	2	90
フロント開発技術	〃	2	50
SEA/J基礎	〃	2	60
Python／AIプログラミング	〃	2	90
実践システム開発演習	〃	2	30
企画と提案	〃	2	40
小計			390
総合情報処理１－２（レベル２）	必須選択　※1	2	60
総合情報処理１－２（レベル３）	〃	2	60
総合情報処理１－２（レベル４）	〃	2	60
自主課題研究１－２	〃	2	60
総合情報処理２（レベル２）	〃	2	150
総合情報処理２（レベル３）	〃	2	150
総合情報処理２（レベル４）	〃	2	150
自主課題研究２	〃	2	150
総合情報処理３－１（レベル２）	〃	2	100
総合情報処理３－１（レベル３）	〃	2	100
総合情報処理３－１（レベル４）	〃	2	100
自主課題研究３－１	〃	2	100
オブジェクト指向プログラミング	必須選択A　※2	2	90
Webアプリケーション構築２	〃	2	80
アプリケーション開発技術	〃	2	60
AIの活用と開発手法	〃	2	30
Linuxサーバ技術１	必須選択B　※2	2	110
Linuxサーバ技術２	〃	2	110
サーバ構築演習	〃	2	40
小計			570
必須科目計			960

※1　必須選択は、各太枠内から１科目選択する。

※2　必須選択A、Bは、A群またはB群のすべての科目を選択する。

システムエンジニア科2年　授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者による授業	履修年次	単位時間数	時間数（90分）	科目概要
A ー 5 043 0	Linux	−	該当年	30	15	サーバOSとして高いシェア率のLinuxについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。
A ー 2 104 1	Webアプリケーション構築1	○	2年	90	45	サーバサイドプログラミングの基本であるサーブレットとJSPの概念や仕組み、データベースとの連携方法を学習する。MVCモデルやDAOパターンのプログラム構成で簡単なWebアプリケーションを構築する。積み上げ型の最終課題を提示し、各単元の完了都度、そこまでの技術で課題作成を行う。 なお、本科目はIT企業でシステム開発にかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
S ー 2 105 1	フロント開発	−	2年	50	25	Webアプリケーションを開発する上で必要となるJavaScriptについて、講義・演習・実習課題を通して基本文法から動的なWebページの開発方法までを習得する。
S ー 2 106 1	SEA/J基礎	○	2年	60	30	情報セキュリティ全般の知識について、SEA／J基礎コースの講義と模擬問題を通して習得する。 なお、本科目はIT企業でネットワークとセキュリティにかかわるシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
S ー 2 107 1	Python／AIプログラミング	−	2年	90	45	AIサービスの開発に利用されているPythonについて、実習を通して言語の基礎知識を学び、基本文法～ディープラーニング等のプログラミング技術を習得する。
S ー 2 108 1	実践システム開発演習	○	2年	30	15	システム開発の上流工程（要件定義、基本設計）について、5～6名のプロジェクトチームによるグループワーク形式での演習を通して、上流工程の一連の流れについて習得する。 なお、本科目は現役のシステムエンジニアが、実務経験に基づく幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
A ー 5 030 2	企画と提案	−	該当年	40	20	提案書作成という課題を通して、決められたテーマについて「考え」「話し合い」「プレゼンテーション」を行うことで、企画や提案を実現に結びつけるための考え方と技法を習得する。
A ー 2 052 1	総合情報処理1－2（レベル2）	−	2年	60	30	総合情報処理1-1 レベル2の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験（レベル2）」シラバスに準拠した知識を習得する。
A ー 2 053 1	総合情報処理1－2（レベル3）	−	2年	60	30	総合情報処理1-1 レベル3の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験（レベル3）」シラバスに準拠した知識を習得する。

システムエンジニア科2年　授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者による授業	履修年次	単位時間数	時間数（90分）	科目概要
A ー 2 054 1	総合情報処理1ー2（レベル4）	−	2年	60	30	総合情報処理1-1 レベル4の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル4）」シラバスに準拠した知識を習得する。
A ー 2 055 1	自主課題研究1ー2	−	2年	60	30	自主課題研究1-1の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
A ー 2 056 1	総合情報処理2（レベル2）	−	2年	150	75	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2：「基本情報技術者試験（レベル2）」シラバスに準拠した知識を習得する。
A ー 2 057 1	総合情報処理2（レベル3）	−	2年	150	75	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3：「応用情報技術者試験（レベル3）」シラバスに準拠した知識を習得する。
A ー 2 058 1	総合情報処理2（レベル4）	−	2年	150	75	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル4）」シラバスに準拠した知識を習得する。
A ー 2 059 1	自主課題研究2	−	2年	150	75	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
A ー 2 060 1	総合情報処理3ー1（レベル2）	−	2年	100	50	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2：「基本情報技術者試験（レベル2）」シラバスに準拠した知識を習得する。
A ー 2 061 1	総合情報処理3ー1（レベル3）	−	2年	100	50	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3：「応用情報技術者試験（レベル3）」シラバスに準拠した知識を習得する。
A ー 2 062 1	総合情報処理3ー1（レベル4）	−	2年	100	50	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル4）」シラバスに準拠した知識を習得する。

システムエンジニア科2年　授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者による授業	履修年次	単位時間数	時間数（90分）	科目概要
A ー 2 063 1	自主課題研究3－1	－	2年	100	50	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
S ー 2 110 1	オブジェクト指向プログラミング	○	2年	90	45	プログラムで実現したいこと（正解）に辿り着くためのオブジェクト指向による考え方を学び、オブジェクト指向の本質的な理解を目指す。 カプセル化、継承、多態性にフォーカスし、単元ごとの演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、オブジェクト指向でゼロからプログラムを作成する力を身につける。最終課題では、ペアまたはチームで簡単なJavaアプリケーションを作成する。 なお、本科目はIT企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
A ー 2 111 1	Webアプリケーション構築2	－	2年	80	40	本科目の実施前に学習した技術（HTML、jQuery、JSP、サーブレット、DAOなど）を駆使して、Webアプリケーションを構築する。 機能を限定したプロトタイプアプリをハンズオン形式で作成する中で、実際のシステム開発の現場でも使う開発手法や実装方法について学ぶ。開発作業は、3～4人のチームでソース共有をしながら実施する。
A ー 2 112 1	アプリケーション開発技術	－	2年	60	30	アプリケーション（ソフトウェア）の要件に応じて、適切なプログラムとデータベースを作成するための設計方法と手順を学ぶ。 UMLとER図にフォーカスし、単元ごとの演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、アプリケーション開発に必要な技術を身につける。ソフトウェア開発支援ツールを使用した各設計の作図にも触れる。
S ー 2 113 1	AIの活用と開発手法	－	2年	30	15	AI（人工知能）の「しくみ」「活用法」「利点・欠点」について、事例や演習・実習を通してAI関連システムの開発に必要な知識を学習する。
S ー 2 114 1	Linuxサーバ技術1	－	2年	110	55	Linuxシステムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 101、およびLinuC Level1 Exam 101の取得を目指す。
S ー 2 115 1	Linuxサーバ技術2	－	2年	110	55	Linuxシステムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 102、およびLinuC Level1 Exam 102の取得を目指す。
S ー 2 116 1	サーバ構築演習	－	2年	40	20	Linuxサーバの構築方法について、実習を通してLinuxのインストールや基本的なCUI操作などサーバ管理者としての基礎知識を学習する。

科目番号：A-50430

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
Ｌｉｎｕｘ			15	15

科　目　概　要	サーバＯＳとして高いシェア率のＬｉｎｕｘについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。
学習到達目標	Ｌｉｎｕｘの概念を理解するとともにコマンドの使い方を習得することで、実際のサーバを操作できるスキルを習得する。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	Linux の概要	13	総合実習
2	ユーザ管理	14	
3	プロセス	15	科目試験
4	ファイルシステムとディレクトリの操作		
5	パーミッション		
6	シンボリックリンクとパス指定		
7	エディタ（vi）		
8	エディタ（jvim）		
9	ネットワークとバックアップ関連コマンド		
10	シェル		
11	シェルの操作		
12	シェルスクリプト		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	イラストでそこそこわかる Linux コマンド入力からネットワークのきほんのきまで	翔泳社

実　習　環　境	Tera Term

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-21041

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
Web アプリケーション構築１	5	40		45

科　目　概　要	サーバサイドプログラミングの基本であるサーブレットと JSP の概念や仕組み、データベースとの連携方法を学習する。MVC モデルや DAO パターンのプログラム構成で簡単な Web アプリケーションを構築する。積み上げ型の最終課題を提示し、各単元の完了都度、そこまでの技術で課題作成を行う。 なお、本科目は IT 企業でシステム開発にかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
学習到達目標	サーブレットと JSP で Web アプリケーションを構築できる。また、JDBC を使ったデータベースアクセスのプログラムを実装できる。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	環境構築	17 ～ 19	セッションスコープ
2	Web のしくみ		
3 4	HTML と Web ページ		
5 ～ 7	サーブレット	20 ～ 22	アクションタグと EL 式
8 ～ 10	JSP	23 ～ 30	Web アプリ作成①
11 ～ 13	MVC モデル	31 ～ 34	JDBC プログラムと DAO パターン
14 ～ 16	リクエストスコープ	35 ～ 45	Web アプリ作成②

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	スッキリわかるサーブレット&JSP 入門 第 2 版	インプレス
副教材		

実　習　環　境	Eclipse Tomcat PostgreSQL

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法	・課題提出（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：S-21051

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
フロント開発技術		25		25

科目概要

Web アプリケーションを開発する上で必要となる JavaScript について、講義・演習・実習課題を通して基本文法から動的な Web ページの開発方法までを習得する。

学習到達目標

Web アプリケーションの構築や開発を望む企業に対し、JavaScript と HTML5 を使用してより良い解決方法を提案できる開発手法を身に付ける。
jQuery を活用して、見栄えのする動的な Web ページを作成する技術を身に付ける。

講義計画

回	内　容	回	内　容
1	イントロダクション(環境構築など)	14～16	外部データを活用したアプリケーション
2	アウトプットの基本		
3～4	Bootstrap 入門	17～19	1 歩進んだテクニック
5～6	JavaScript の文法と基本的な機能	20～24	総合演習（最終成果物作成）
7～8	インプットとデータの加工	25	成果物提出
9～10	jQuery 入門		
11～12	Bootstrap 応用		
13	中間提出		

使用教材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	確かな力が身につく JavaScript「超」入門 第 2 版	SB クリエイティブ
副教材		

実習環境

Visual Studio Code
Google Chrome

目標資格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法

・課題提出（100%）

＜評価基準＞　100～90 点：　秀
89～80 点：　優
79～70 点：　良
69～60 点：　可
59 点以下：不可

科目番号：S-21061

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
ＳＥＡ／Ｊ基礎	30			30

科　目　概　要	情報セキュリティ全般の知識について、ＳＥＡ／Ｊ基礎コースの講義と模擬問題を通して習得する。 なお、本科目は IT 企業でネットワークとセキュリティにかかわるシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
学習到達目標	ＳＥＡ／Ｊ基礎（ＣＳＢＭ）資格を取得し、企業等でセキュリティ・リーダーとなる基礎知識を習得する

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	情報セキュリティマネジメント	15	ＩＤ管理と認証、パスワード認証、バイオメトリクス認証、認証デバイス
2	セキュリティ運用		
3	インフラセキュリティ	16	認証プロトコル、シングルサインオン、アクセス制御手法
4			
5	不正アクセス	17	プログラミング
6	ファイアウォールの概念	18	不正プログラム
7	ネットワークアクセスコントロール	19	不暗号の基礎、共通鍵
	ＮＡＴ	20	公開鍵、その他の鍵
8	ファイアウォールの導入と運用	21	電子署名
9	ＩＤＳの概要と構成	22	ＰＫＩ
	検知アルゴリズム	23	セキュリティプロトコル
10	侵入検知関連技術	24	標準規格
11	アプリケーションセキュリティ（ＤＮＳ、電子メール）	25	法令
		26	資格試験対策
12	アプリケーションセキュリティ（Ｗｅｂ）	27	
		28	
13	サービス管理、ファイルシステム管理、アカウント管理、ネットワーク保護	29	
		30	科目試験
14	修正プログラムの管理、ログ管理、監査機能、ＴｒｕｓｔｅｄＯＳ		

使　用　教　材	書　籍　名	出　版　社
主教材	情報セキュリティ技術認定　基礎コーステキスト	ＳＥＡ／Ｊ

実　習　環　境	

目　標　資　格	資　格　名	実　施　団　体
	情報セキュリティ技術認定 基礎（ＣＳＢＭ）	ＳＥＡ／Ｊ
	基本情報技術者試験	IPA 独立法人情報処理推進機構
	応用情報技術者試験	IPA 独立法人情報処理推進機構
	情報セキュリティマネジメント試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法		
	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：S-21071

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
Python／AI プログラミング		45		45

科　目　概　要	AI サービスの開発に利用されている Python について、実習を通して言語の基礎知識を学び、基本文法～ディープラーニング等のプログラミング技術を習得する。
学習到達目標	Python を使った簡単なプログラムが作成できるようになるとともに、AI プログラムの基礎力を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	科目概要 イントロダクション 開発環境構築	17 ～ 27	プログラミング実習 オリジナルアプリ開発
2	計算処理	28	中間提出
3	変数	29 ～ 30	例外処理 オリジナルアプリ開発（機能拡張）
4	文字列操作		
5	入力処理	31 ～ 34	標準ライブラリ オリジナルアプリ開発（機能拡張）
6	リスト型		
7	条件分岐	35 ～ 37	ファイル処理 オリジナルアプリ開発（機能拡張）
8	繰り返し		
9	辞書型	38 ～ 42	機械学習・ディープラーニング オリジナルアプリ開発（機能拡張）
10	集合型・タプル型		
11	内包表記	43	成果物提出
12 ～ 13	関数	44	模擬試験
14	無名関数	45	科目試験
15 ～ 16	オブジェクト指向		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	わかる Python[決定版]	SB クリエイティブ
副教材		

実　習　環　境	・Python3 系 ・Anaconda ・Visual Studio Code

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
Python 3 エンジニア認定基礎試験	一般社団法人 Python エンジニア育成推進協会

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：S-21081

科　目　名	時間数(90 分)			
実践システム開発演習 ～株式会社ＳＣＣによる職業実践専門課程 企業連携演習授業～	講　義	演　習	実　習	合　計
	6	9		15

科目概要	システム開発の上流工程（要件定義、基本設計）について、５～６名のプロジェクトチームによるグループワーク形式での演習を通して、上流工程の一連の流れについて習得する。 なお、本科目は現役のシステムエンジニアが、実務経験に基づく幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
学習到達目標	企業連携授業による実際のシステム設計を体験し、システムエンジニアとしてシステムの構築方法やユーザーとの関わり方を身に付ける。

講義計画

回	内　容	回	内　容
1	システム開発工程	14	成果発表会
2	提案依頼書(RFP)	15	まとめ・総評
3	要件定義		
4	演習（要件定義）		
5	基本設計		
6	演習（論理 DB 設計、スケジュール、画面レイアウト）		
7	基本設計書		
8			
9	演習（基本設計書） ・基本設計書 ・成果発表会資料 ・リハーサル		
10			
11			
12			
13			

使用教材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	実践システム開発演習（学習ノート）	SCC
その他	名刺、日報用紙、議事録用紙、	
	基本設計書、発表タイトル	

実習環境

Microsoft Office Word 2019
Microsoft Office Excel 2019
Microsoft Office PowerPoint 2019

目標資格

資　格　名	実施団体

成績評価方法

・グループ評価（50%）
　評価シート（インターンシップ会社評価）
・個人評価（50%）
　別途定める評価シートに基づく

＜評価基準＞
100～90 点：秀
89～80 点：優
79～70 点：良
69～60 点：可
59 点以下：不可

科目番号：A-50302

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
企画と提案	3	17		20

科　目　概　要	提案書作成という課題を通して、決められたテーマについて「考え」「話し合い」「プレゼンテーション」を行うことで、企画や提案を実現に結びつけるための考え方と技法を習得する。
学習到達目標	企画、提案の基本的な考え方を理解するとともに、導き出したアイデアを提案書としてまとめ、訴求力のあるプレゼンテーションによって聴衆に提案内容を理解させることができる。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	提案を知ろう	16	提案（プレゼンテーション）
2	提案書の書き方	17	
3	プレゼン資料作成演習	18	
4		19	
5		20	まとめ
6			
7			
8	アイデアの収集と集約		
9	話し合い①		
10			
11	話し合い②		
12	提案書作成とプレゼン準備		
13			
14			
15	提案（プレゼンテーション）		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	伝わるデザインの基本　増補改訂 3 版　よい資料を作るためのレイアウトのルール	技術評論社
副教材		

実　習　環　境	Microsoft Office Word 2019 Microsoft Office PowerPoint 2019

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法	・課題提出（100%）	＜評価基準＞　100～80 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20521

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
総合情報処理 1-2（レベル 2）	30			30

科　目　概　要	総合情報処理 1-1 レベル 2 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
学習到達目標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1-2	サービスマネジメント／システム監査		
3	システム戦略／システム企画		
4-6	経営戦略マネジメント／技術戦略マネジメント／ビジネスインダストリ		
7-12	企業活動／法務		
13-15	模試 3		
16-18	弱点補強 3		
19-22	弱点補強　言語系		
23-26	弱点補強　設計系		
27-30	国家試験		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各コースで選定された対策テキスト	
副教材		

実　習　環　境	

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
基本情報技術者試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20531

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
総合情報処理 1-2（レベル 3）	30			30

科　目　概　要	総合情報処理 1-1　レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
学習到達目標	レベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。

講義計画

回	内　容	回	内　容
1-6	AM対策		
7-13	PM対策		
14-16	模擬試験 1		
17-20	弱点補強 1		
21-23	模擬試験 2		
24-30	弱点補強 2		

使用教材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各コースで選定された対策テキスト	
副教材		

実　習　環　境	

目標資格

資　格　名	実　施　団　体
応用情報技術者試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20541

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
総合情報処理 1-2（レベル 4）	30			30

科　目　概　要	総合情報処理 1-1　レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
学習到達目標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	AM対策		
2-4	模擬試験 2		
5-10	模擬試験 2 解説		
11	AM対策		
12-14	模擬試験 3		
15-20	模擬試験 3 解説		
21-27	弱点対策		
28-30	国家試験		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各コースで選定された対策テキスト	
副教材		

実　習　環　境

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
情報処理安全確保支援士試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20551

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
自主課題研究 1-2		30		30

科　目　概　要	自主課題研究 1-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を 1 作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1-30	自主創作(学習)活動		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各自必要となるテキストを用意	
副教材		

実　習　環　境	

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法	・課題提出（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20561

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
総合情報処理 2（レベル 2)	75			75

科　目　概　要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
学習到達目標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1-5	ガイダンス、基礎理論	57-58	サービスマネジメントとシステム監査
6-15	アルゴリズムとプログラミング	59	システム戦略と企画
16-20	コンピュータ構成要素	60-61	戦略マネジメント
21-22	システム構成要素	62-66	企業活動と法務
23-26	ソフトウェア/ハードウェア	67-68	模試 3
27	ヒューマンインタフェース/マルチメディア	69-72	弱点補強 3
28-29	模試 1	73-75	国家試験
30	弱点補強 1		
31-35	データベース		
36-44	ネットワーク/セキュリティ		
45-49	システム開発技術		
50-51	模試 2		
52	弱点補強 2		
53-54	ソフトウェア開発管理技術		
55-56	プロジェクトマネジメント		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各コースで選定された対策テキスト	
副教材		

実　習　環　境	

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
基本情報技術者試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20571

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
総合情報処理 2（レベル 3)	75			75

科　目　概　要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
学習到達目標	レベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	ガイダンス	68-70	模擬試験 3
2-4	コンピュータ科学基礎	71-72	弱点補強 3
5-7	コンピュータアーキテクチャ	73-75	国家試験
8-10	基本ソフトウェア		
11-15	通信ネットワーク		
16-20	データベース		
21-25	ソフトウェア工学		
26-30	システム構成技術		
31-35	マネジメント		
36-44	AM対策		
45-53	PM対策		
54-56	模擬試験 1		
57-60	弱点補強 1		
61-63	模擬試験 2		
64-67	弱点補強 2		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各コースで選定された対策テキスト	
副教材		

実　習　環　境	

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
応用情報技術者試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20581

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
総合情報処理 2（レベル 4）	75			75

科　目　概　要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
学習到達目標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	ガイダンス	52-54	模擬試験 3
2-3	情報セキュリティ	55-60	模擬試験 3 解説
4	リスクマネジメント	61-72	弱点対策
5-12	主な侵入・攻撃方法と対策	73-75	国家試験
13-15	ネットワークセキュリティ		
16-18	電子メール、Web アプリケーション		
19-26	認証技術		
27-30	情報セキュリティマネジメント		
31	AM対策		
32-34	模擬試験 1		
35-40	模擬試験 1 解説		
41	AM対策		
42-44	模擬試験 2		
45-50	模擬試験 2 解説		
51	AM対策		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各コースで選定された対策テキスト	
副教材		

実　習　環　境	

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
情報処理安全確保支援士試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20591

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
自主課題研究 2		75		75

科　目　概　要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を 1 作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	ガイダンス		
2-3	学習テーマ設定		
4-75	自主創作(学習)活動		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各自必要となるテキストを用意	
副教材		

実　習　環　境	

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法	・課題提出 1（50%） ・課題提出 2（50%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20601

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
総合情報処理 3-1（レベル 2）	50			50

科　目　概　要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
学習到達目標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1-5	ガイダンス、基礎理論		
6-13	アルゴリズムとプログラミング		
14-17	コンピュータ構成要素		
18-19	システム構成要素		
20-24	ソフトウェア／ハードウェア		
25	ヒューマンインタフェース／マルチメディア		
26-27	模試 1		
28	弱点補強 1		
29-33	データベース		
34-40	ネットワーク／セキュリティ		
41-43	システム開発技術		
44-45	模試 2		
46	弱点補強 2		
47-48	ソフトウェア開発管理技術		
49-50	プロジェクトマネジメント		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各コースで選定された対策テキスト	
副教材		

実　習　環　境	

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
基本情報技術者試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20611

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
総合情報処理 3-1（レベル 3）	50			50

科　目　概　要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
学習到達目標	レベル 3：「応用情報技術者試験（レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	ガイダンス		
2-4	コンピュータ科学基礎		
5-8	コンピュータアーキテクチャ		
9-12	基本ソフトウェア		
13-18	通信ネットワーク		
19-24	データベース		
25-28	ソフトウェア工学		
29-32	システム構成技術		
33-38	マネジメント		
39-40	AM対策		
41-44	PM対策		
45-47	模擬試験		
48-50	弱点補強		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各コースで選定された対策テキスト	
副教材		

実　習　環　境	

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
応用情報技術者試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20621

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
総合情報処理 3-1（レベル 4）	50			50

科　目　概　要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
学習到達目標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4)」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。

講義計画

回	内　容	回	内　容
1	ガイダンス		
2-3	情報セキュリティ		
4	リスクマネジメント		
5-12	主な侵入・攻撃方法と対策		
13-15	ネットワークセキュリティ		
16-18	電子メール、Web アプリケーション		
19-26	認証技術		
27-30	情報セキュリティマネジメント		
31	AM対策		
32-34	模擬試験 1		
35-40	模擬試験 1 解説		
41-49	弱点対策		
50	科目試験		

使用教材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各コースで選定された対策テキスト	
副教材		

実　習　環　境	

目標資格

資　格　名	実　施　団　体
情報処理安全確保支援士試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-20631

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
自主課題研究 3-1		50		50

科　目　概　要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
学習到達目標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を 1 作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	ガイダンス		
2-3	学習テーマ設定		
4-50	自主創作(学習)活動		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	各自必要となるテキストを用意	
副教材		

実　習　環　境	

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法	・課題提出（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：S-21101

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
オブジェクト指向プログラミング	15	30		45

科　目　概　要	プログラムで実現したいこと（正解）に辿り着くためのオブジェクト指向による考え方を学び、オブジェクト指向の本質的な理解を目指す。 カプセル化、継承、多態性にフォーカスし、単元ごとの演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、オブジェクト指向でゼロからプログラムを作成する力を身につける。最終課題では、ペアまたはチームで簡単な Java アプリケーションを作成する。 なお、本科目は IT 企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
学習到達目標	・カプセル化、継承、多態性の機能を用いたプログラムを作成できる。 ・オブジェクト指向のメリットを理解し、プログラムに反映できる。 ・ペアまたはチーム開発のメリットを理解し、協力してプログラムを作成できる。

講　義　計　画	回	内　容	回	内　容
	1	環境構築	19 20	高度な継承
	2 ～ 7	Java 復習	21 22	多態性
	8 9	インスタンスとクラス	23 24	例外処理
	10 ～ 12	コンストラクタと静的メンバ	25 26	コレクションクラス
	13 ～ 15	カプセル化	27 ～ 45	最終課題
	16 ～ 18	継承		

使　用　教　材		書　籍　名	出　版　社
	主教材	スッキリわかる Java 入門 第 3 版	インプレス
	副教材		

実　習　環　境
Eclipse

目　標　資　格	資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法		
	・課題提出（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-21111

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
Web アプリケーション構築２		40		40

科　目　概　要	本科目の実施前に学習した技術（HTML、jQuery、JSP、サーブレット、DAO など）を駆使して、Web アプリケーションを構築する。 機能を限定したプロトタイプアプリをハンズオン形式で作成する中で、実際のシステム開発の現場でも使う開発手法や実装方法について学ぶ。開発作業は、3～4 人のチームでソース共有をしながら実施する。
学習到達目標	・普段利用する Web アプリケーションを意識して機能仕様を考え、実装できる。 ・チーム開発のメリットを理解し、協力して Web アプリケーションを構築できる。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	演習内容の説明		
2	環境構築		
3～5	ソース共有		
6～11	プロトタイプアプリの作成		
12～40	グループ開発		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	スッキリわかるサーブレット&JSP 入門 第２版	インプレス

実　習　環　境	Eclipse Tomcat PostgreSQL

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法	・課題提出（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：A-21121

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
アプリケーション開発技術	5	25		30

科　目　概　要	Android アプリケーションを題材に、適切なプログラムを作成するための設計方法と手順を学ぶ。 演習課題では実際に手を動かしたり、考えたりすることで、アプリケーション開発に必要な技術を身につける。ソフトウェア開発支援ツールを使用した画面設計にも触れる。
学習到達目標	・Android アプリケーションを作成できる。 ・ソフトウェア開発支援ツールを使用して画面設計できる。 ・アプリケーション開発における設計の必要性を理解できる。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	開発環境の準備	16～20	Android アプリの画面設計
2～3	Android Studio の使用	21～22	Android アプリの企画･設計
4～9	Android アプリの作成方法(基礎)	23～29	Android アプリの開発
10～15	Android アプリの作成方法(応用)	30	Android アプリの納品

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	基礎＆応用力をしっかり育成！ Android アプリ開発の教科書 第 2 版 Java 対応	翔泳社
副教材		

実　習　環　境	Android Studio

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法	・課題提出（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可

科目番号：S-21131

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
AI の活用と開発手法	9	3	3	15

科　目　概　要	AI（人工知能）の「しくみ」「活用法」「利点・欠点」について、事例や演習・実習を通して AI 関連システムの開発に必要な知識を学習する。
学習到達目標	AI の基礎知識と現状を理解し、将来に向けた最適な AI の提案とシステム構築への応用力を身につける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	AI の歴史	16	
2	AI の発展過程	17	
3	AI のビジネス活用	18	
4	AI にできること	19	
5	機械学習	20	
6		21	
7	ニューラルネットワーク	22	
8	ディープラーニング（深層学習）	23	
9	AI の実例（顔検出）	24	
10	AI の実例（物体検出）	25	
11	AI の実例（まとめ）	26	
12	AI の実装手段	27	
13	AI の発達と影響を受ける産業	28	
14	AI の将来	29	
15	科目試験	30	

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	AI の活用と開発手法（学習ノート）	SCC
副教材	実習用配布教材	

実　習　環　境	VirtualBox + Linux 仮想マシン

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
IT パスポート試験	IPA 独立法人情報処理推進機構
基本情報技術者試験	IPA 独立法人情報処理推進機構

成績評価方法	・科目試験	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可

科目番号：S-21141

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
Linux サーバ技術 1	55			55

科　目　概　要	Linux システムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 101、および LinuC Level1 Exam 101 の取得を目指す。
学習到達目標	Linux システムの構築・運用・管理の内容を理解する。また、LPIC、および LinuC の Level1 Exam 101 に相当する知識と技術を習得する。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1 ～ 10	システムアーキテクチャ ハードウェアの基本知識と設定、Linux の起動とシャットダウン、SysVinit、systemd	31 ～ 40	ファイルとプロセスの管理 基本的なファイル管理、パーミッションの設定、ファイルの所有者管理、ハードリンクとシンボリックリンク、プロセス管理、プロセスの実行優先度
11 ～ 20	Linux のインストールとパッケージ管理 ハードディスクのレイアウト設計、ブートローダのインストール、共有ライブラリ管理、Debian パッケージの管理、RPM パッケージの管理	41 ～ 50	デバイスと Linux ファイルシステム パーティションとファイルシステムの作成、ファイルシステムの管理、ファイルシステムのマウントとアンマウント、ファイルの配置と検索
21 ～ 30	GNU＆UNIX コマンド コマンドライン操作、パイプとリダイレクト、テキスト処理フィルタ、正規表現を使ったテキスト検索、vi エディタ	51 ～ 54	資格試験対策
		55	科目試験

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	Linux 教科書 LPIC レベル 1 Version5.0 対応	翔泳社
副教材	Linux 教科書 LPIC レベル 1 スピードマスター問題集 Version5.0 対応	翔泳社

実　習　環　境

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
LPI Level1 Exam 101	LPI
LinuC Level1 Exam 101	LPI-Japan

成績評価方法

・科目試験（100%）

＜評価基準＞　100～90 点：　秀
89～80 点：　優
79～70 点：　良
69～60 点：　可
59 点以下：不可

科目番号：S-21151

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
Linux サーバ技術２	55			55

科　目　概　要	Linux システムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 102、および LinuC Level1 Exam 102 の取得を目指す。
学習到達目標	Linux システムの構築・運用・管理の内容を理解する。また、LPIC、および LinuC の Level1 Exam 102 に相当する知識と技術を習得する。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1 ～ 10	シェルとシェルスクリプト シェル環境のカスタマイズ、シェルスクリプト	31 ～ 40	ネットワークの基礎 TCP/IP の基礎、ネットワークの設定、ネットワークのトラブルシューティング、DNS の設定
11 ～ 20	ユーザインターフェースとデスクトップ X のインストールと設定、グラフィカルデスクトップ、アクセシビリティ		
21 ～ 30	管理タスク ユーザとグループの管理、ジョブスケジューリング、ローカライゼーションと国際化、システムクロックの設定、システムログの設定、メール管理、プリンタ管理	41 ～ 50	セキュリティ ホストレベルのセキュリティ、ユーザに対するセキュリティ管理、OpenSSH、GnuPG による暗号化
		51 ～ 54	資格試験対策
		55	科目試験

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	Linux 教科書 LPIC レベル 1 Version5.0 対応	翔泳社
副教材	Linux 教科書 LPIC レベル 1 スピードマスター問題集 Version5.0 対応	翔泳社

実　習　環　境

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体
LPI Level1 Exam 102	LPI
LinuC Level1 Exam 102	LPI-Japan

成績評価方法

・科目試験（100%）

＜評価基準＞　100～90 点：　秀
89～80 点：　優
79～70 点：　良
69～60 点：　可
59 点以下：不可

科目番号：S-21161

科　目　名	時間数(90 分)			
	講　義	演　習	実　習	合　計
サーバ構築演習		20		20

科　目　概　要	Linux サーバの構築方法について、実習を通して Linux のインストールや基本的な CUI 操作などサーバ管理者としての基礎知識を学習する。
学習到達目標	代表的なサーバ環境の構築を実践することで、OS インストール、各種コマンドの使い方、主要なソフトウェアのインストール～設定方法を身に付ける。

講　義　計　画

回	内　容	回	内　容
1	OS のインストール		
2	リモートログイン		
3	vi の操作とバックアップの取得		
4	セキュリティの設定(アクセス制御)		
5～8	セキュリティの設定（ネットワークセキュリティ）		
9～16	LAMP サーバの構築		
17～19	手順書の動作検証		
20	提出物の確認		

使　用　教　材

	書　籍　名	出　版　社
主教材	15 時間でわかる CentOS 集中講座	技術評論社
副教材		

実　習　環　境	VirtualBox CentOS

目　標　資　格

資　格　名	実　施　団　体

成績評価方法	・課題提出（100%）	＜評価基準＞　100～90 点：　秀 89～80 点：　優 79～70 点：　良 69～60 点：　可 59 点以下：不可